



水保通信  
第 59 号  
水保まちづくり・広報部  
平成24年6月16日発行

ホームページ <http://www.usennet.ne.jp/~mizuho/> メールアドレス [mizuho@usennet.ne.jp](mailto:mizuho@usennet.ne.jp)

## 水保町のみなさんへ

### 『際立つ水保の構築は一人称でGO!』

初夏の風が快く感じられる季節と相成りました、水保の桜の木も少しずつ成長して若葉を付け育ててきております。水保の「環境・町内の姿」も合わせるように好転してございます。皆様方の思い・ニーズを各役員・協議員が受信して自治会にプットされ議会制民主主義の中、皆で企画・立案・改善へと行政を巻き込みながら展開できています。また素晴らしく各組が機能して「まちづくり」活動が活性化できております。このことについて自治会長として感謝申し上げたいと存じております。

「まちづくり」を発展させることについては町民の皆様方の深いご理解と前向きな「自助・共助」というグレードの高い精神をお持ちであり、更に実践を賜っていること以外にありえません。

今後は水保町を更にこのような姿にしたいと思う「水保ビジョン」を構築して共有化する中、「まちづくり」活動として展開し行ければ水保町は更に際立っていく事となるでしょう。水保で育ち、水保で生活し、水保を愛し続け「まちづくりは一人称を合言葉に子孫に胸を張って引き継いでいきましょう。

自治会長 今井 薫

## 今年 の 春 祭 り

今年も5月5日のこどもの日に春祭りが盛大にとりおこなわれました。今年の連休後半はあいにくの空模様の多かったな5日の祭り当日は晴天に恵まれ多くの子どもたちが参加いたしました。隣の今浜町では不幸な事故で祭りが中止になりましたが、水保町ではこれを教訓に更なる安全第一の精神でもって危険予知を行う中で企画運営を進めて行きたいと存じます。



# どろんこ田植え体験会

5月27日日曜日に西村憲司氏所有の田で田植えの体験会を実施いたしました。水保ではなじみの田植え風景ではありますが、機械化された昨今、素足から田んぼに入って直接素手で田植えをするということを見なくなったことから、子どもたちにとってこの体験が心の財産に成る事と思います。



今回、貴重な田を提供してくださいました、中町9組の西村憲司様に御礼を申し上げます。

## 新 入 生 紹 介



今年は5人の新一年生が誕生しました

向かって左から

- |          |        |
|----------|--------|
| 小山 定朗くん  | (定寛さん) |
| 下村 美樹ちゃん | (博さん)  |
| 篠原 和真くん  | (啓人さん) |
| 大畑 玲来ちゃん | (博司さん) |
| 今井 大河くん  | (英樹さん) |

## 皆様のご意見をお聞かせください

### テーマ 「先人たちの知恵」

昨年3月11日の東日本大震災の時に発生した原発事故を契機に、あって当たり前使って当たり前とっていた「電気」が現代社会において比重の大きさを再認識させられる結果となりました。冷房があって当たり前、テレビがあって当たり前、インターネットができて当たり前etc…。これらはすべて「電気」の存在が大前提となっていることです。

簡単に情報が得られる現代と違い、情報が簡単に得られない時代に先人たちはどのように知恵を絞って乗り越えて生きてこられたかを知る・学ぶことがもしもの時に役立つことになるのではないかと思います。

水保町は高齢者の割合が3割超と高齢化が進んでいる町でございます。逆に考えれば、先人たちの知恵を引き継いでたお年寄りの方々が多数いらっしゃるということにもなります。そういった方々が引き継いでこられた知恵や、それにまつわることわざ、ことわざから教えられたことや意味、など幅広く募りたいと考えております。どんなことでも結構ですので気楽にご意見をお寄せください。尚、本コスモスに投稿用紙を添付いたしますので、お近くの役員・広報部員までお寄せいただく集落センターのポストに投函していただければ幸いです。またEメール(mizuho@usenet.ne.jp)でも承っておりますので、お気軽にどんどんご意見をお寄せください。

まちづくり 広報